本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗　電池が消耗しますと「見にくくなったり」「表示が消えたり」「時刻の狂いが目立ったり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換　電池交換は必らずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

●電池は必らず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
デジタル部表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：アナログ部……時・分・秒（2針）
　デジタル部……時刻表示＝時・分・秒・午前／午後(AM・PM)
　カレンダー表示＝月・日・曜日
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
　計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
アラーム機能：デイリーアラーム　セット単位＝分　アラーム音＝約20秒間
　時報　毎正時を報知
　デイトアラーム　セット単位＝日
　毎正時に当日を報知（時報ONのとき）
デュアルタイム機能：アナログ部（またはデジタル部）の単独セットにより可能
駆動方式：アナログ部＝ステップモーター式（20秒運針）
　デジタル部＝マルチプレックス駆動
使用電池：酸化銀電池（No.391）電池別途販売
電池寿命：約15ヵ月（1日当り、アラーム30秒間使用したとき。）

デイトアラームの使い方……「操作のしくみ」にしたがって、Ⓒボタンを押し、デイトアラームモードにします。

確認　⇨ D.AL の点滅

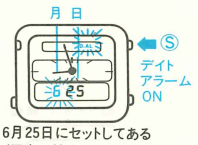
デイトアラームモード

デイトアラームモードのときⓈボタンを押すごとに「ON」がついたり、消えたりします。「ON」にしておくと（時報ONのとき）セット当日、毎正時をメロディーで知らせます。

※デジタル時刻にしたがい機能します。

また、当日時刻モードでⒶボタンを押すとメロディーが鳴ります。

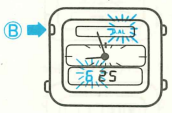
※当日、時刻表示またはカレンダー表示のとき、D.AL が点滅します。



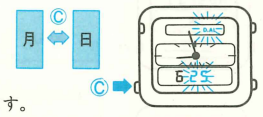
6月25日にセットしてある（アナログで8時57分10秒を表示）

●セットのしかた

(1) デイトアラームモードのとき、Ⓑボタンを押すと「月」が点滅します。

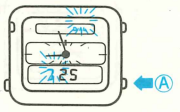


(2) Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が変わります。
※点滅個所がセット可能です。

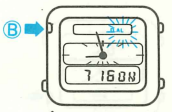


(3) 点滅個所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進みます。
押し続けると早送りできます。

Ⓒボタンでセットしたい個所を点滅させ、Ⓐボタンで表示を合わせてアラームを鳴らしたい日付にします。



(4) 合わせ終わったら、Ⓑボタンを押すと点滅は止まります。
「ON」が点灯してセット完了です。



（7月16日にセット）

●アラームデモンストレーション

デイトアラームモードのとき、Ⓐボタンを押すとアラーム音の確認ができます。

●他モードへの切替え

ストップウオッチなどある機能を使用中に他のモードに切替えてもその機能には一切影響ありません。ただし、ラップ計測時（LAPが点灯）にこの操作をしますと、ラップは解除されます。

時刻表示


（ストップウオッチ使用中 デイトアラームON）

●長針の微調整……長針がピタリ合っていないとき

（Ⓑボタンを押して）デジタル部の「秒」が点滅しているとき、Ⓢボタンを押すと「秒」は00秒からスタートし、長針が一運針（20秒分進む）しますので、時計の刻みにピタリ合わせてください。



（長針が20秒分遅れているとき）

ご使用上の注意

温　度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。

●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性　洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳、入浴、洗車時などでのご使用はお避けください。

●防水性能を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　気　家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、アナログ部（長・短針）は、磁石など強い磁気の影響を受けると一時的に遅れ進みを生じることがありますので強い磁気を発生する器具には近づけないでください。

●万が一強い磁気の影響を受けたときは、磁気を遠ざけると元の精度で動きます。この場合は時刻の修正をしてください。
（デジタル部の表示には影響ありません。）

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。

●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類　水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

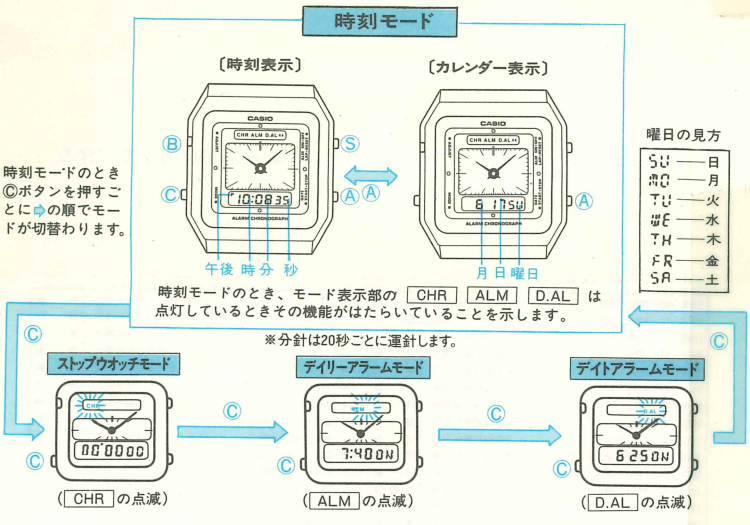
保　管　長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

表示の見方と操作のしくみ



●12/24時間制切替え

時刻モードのときⒶボタンを押したまま、Ⓑボタンを押すごとにデジタル部は12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ・進みの修正

※時刻モードのとき両表示ともできます。
デジタル部の「秒合わせ」をおこなうと、アナログ部の「秒合わせ」も自動的におこなわれます。

(1) 時刻モードのとき、Ⓑボタンを押すとデジタル部の「秒」が点滅しながら進みます。



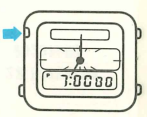
(2) 時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。



(3) Ⓑボタンを押すともとの表示に戻ります。

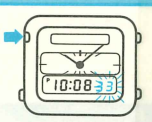
※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



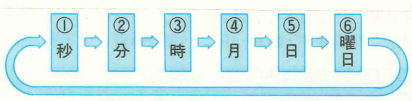
時刻・カレンダーの合わせ方

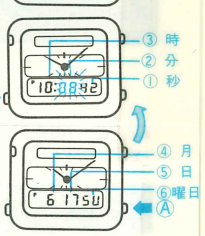
デジタル部の修正

(1) 時刻モードのとき、Ⓑボタンを押します。
確認 ⇨ デジタル部の「秒」が点滅していますか？



(2) Ⓒボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？
※Ⓒボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。
点滅個所が修正可能です。



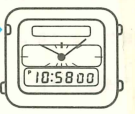


(3) Ⓐボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅している表示が1つ進みましたか？
※Ⓐボタンを押すごとに点滅している表示が1つずつ進みます。
押し続けると早送りできます。



Ⓒボタンで修正したい個所を点滅させ、Ⓐボタンで表示を修正する操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注1)「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。
注2) 24時間制のときも同じ方法で合わせられます。

(4) 合わせ終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すともとの表示に戻ります。
確認 ⇨ 点滅が止まりましたか？
●カレンダーは大、小の月を自動判別するオートカレンダーですのでうるう年の2月29日以外は修正不要です。



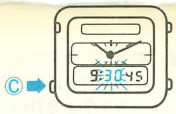
アナログ部の修正

アナログ部の時刻はデジタル部の時刻と別々にセットできます。
(1) 時刻モードのときⒷボタンを押すと(デジタル部の)「秒」が点滅します。



「長針」のセット

(2) Ⓒボタンを押すとデジタル部の「分」が点滅します。

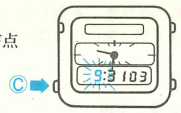


(3) Ⓢボタンを押すごとに長針が1分ずつ進みます。
押し続けると早送りができます。

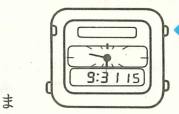


「短針」のセット

(4) 長針のセットの後、Ⓒボタンを押すとデジタル部の「時」が点滅します。

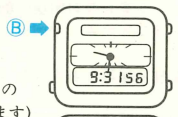


(5) Ⓢボタンを押すと長針が1周(1時間進む)します。

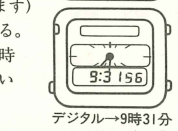


セット完了

(6) 合わせ終わったらⒷボタンを押し、デジタル部の点滅を止めます。
※アナログ部の時刻修正をしても、デジタル部の時刻修正はされません。



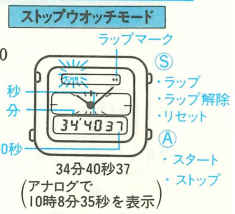
●時刻表示では時刻をデジタルとアナログで表示しますので、この2つを使い分けることもできます。(ただし、「秒」は連動しています)
(例1) デジタルを24時間制表示、アナログを12時間制表示にする。
(例2) どちらかを海外時刻などもう1つの時刻を表示させ、別時計として使う。(ただし、各機能はデジタル時刻にしたがい機能します。)


デジタル→9時31分
アナログ→7時31分

ストップウオッチの使い方…「操作のしくみ」にしたがって、Ⓒを押しストップウオッチモードにします。

確認 ⇨ CHR の点滅

ストップウオッチは1/100秒単位で、59分59秒99まで計測でき、以後0に戻って計測し続けます。



●計測のしかた……Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

★通常の計測

Ⓐ スタート ⇨ Ⓐ ストップ ⇨ Ⓢ リセット

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

★ラップタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ スタート ⇨ Ⓢ ラップ計測 ⇨ Ⓢ ラップ解除 ⇨ Ⓐ ストップ ⇨ Ⓢ リセット

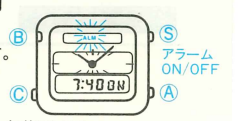
★1着・2着のタイム計測

Ⓐ スタート ⇨ Ⓢ 1着がゴール(1着タイム表示) ⇨ Ⓐ 2着がゴール ⇨ Ⓢ 2着タイム表示 ⇨ Ⓢ リセット

デイリーアラームの使い方…「操作のしくみ」にしたがって、Ⓒボタンを押し、デイリーアラームモードにします。

確認 ⇨ ALM の点滅

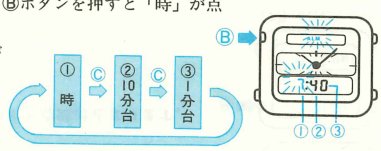
デイリーアラームは分単位で任意の時刻をセットでき、セット時刻になると約20秒間アラームが鳴ります。
毎正時(00分のとき)を知らせる時報もセットすることができます。
※いずれもデジタル時刻にしたがい、機能します。



●セットのしかた

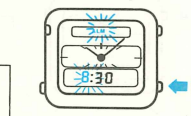
(1) デイリーアラームモードのとき、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。

(2) Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。
※点滅個所がセット可能です。

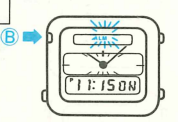


(3) Ⓐボタンを押すごとに表示が1つずつ進みます。
押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンで表示を合わせてアラームを鳴らしたい時刻にします。
※24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制でおこないます。



(4) 合わせ終わったら、Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、「ON」が点灯してセット完了です。

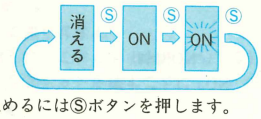

(午後11時15分にセット)

●アラーム、時報のON/OFF

デイリーアラームモードのときⓈボタンを押すごとに「ON」が点灯、点滅、不点灯をくりかえします。

①ONが消えているとき ⇨ アラームも時報も鳴りません。
②ONが点灯しているとき ⇨ セット時刻になるとアラームが鳴ります。(時報は鳴りません)
③ONが点滅しているとき ⇨ セット時刻になるとアラームが鳴り、毎正時に時報が鳴ります。


(時報、アラームON)



●鳴っているアラームを止めるにはⓈボタンを押します。
●アラームデモンストレーション
デイリーアラームモードのとき、Ⓐボタンを押すとアラーム音の確認ができます。